

室蘭市行政改革プラン2016

計画期間が平成28年度から令和3年度までの「室蘭市行政改革プラン2016」における令和2年度実績の概要をお知らせします。

目標1 持続可能な財政基盤の確立

令和3年度末までの単年度収支（財政の見通し）不足額合計の約18億円の解消を目指します。

■収支不足の解消見込み（令和3年度は予定額）

（単位：百万円）

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計
単年度収支（財政の見通し）(A)※1	-	△61	23	△524	△443	△829	△1,834
行財政基盤の強化	114	301	356	435	664	641	2,511
市有財産のスリム化	74	130	191	166	214	159	934
行政サービスの利便性向上				3	7	23	33
事務事業の構造的見直し				14	24	33	71
効果額合計(B)	188	431	547	618	909	856	3,549
行政改革取組後の単年度収支(C)=(A)+(B)	188	370	570	94	466	27	1,715
行政改革取組後の累積収支	188	558	1,128	1,222	1,688	1,715	
実質収支額※2	584	653	733	628	855		

※1…財政の見通しには、広域廃棄物処理施設の特例委託費や延命化にかかわる経費などは見込まれていません。

※2…行政改革以外の要素を含む各年度の実質収支額。翌年度に繰り越され、補正予算の財源となっています。

目標2 職員数の適正化

人口1,000人当たりの職員数が、類似団体の平均数値を超えないよう、長期的な視点で計画的に職員数の適正化を進めます。

■職員数の適正化

（単位：人）

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
一般会計職員数※3	554	540	534	529	524	522
人口※4	88,618	87,180	85,807	84,405	82,977	81,579
人口1,000人当たり職員数()は類似団体平均	6.25 (6.15)	6.19 (6.28)	6.22 (6.28)	6.27 (6.30)	6.32 (6.34)	6.40

※3…各年4月1日時点の一般会計職員数

※4…各年1月1日時点の人口

主な取組内容

1. 行財政基盤の強化

入湯税の導入

市内鉱泉浴場の入湯客に対し、1人1泊150円の入湯税を導入

各種手当の見直し

職員の持家に対する住居手当を廃止

2. 市有財産のスリム化

公共建築物の一元管理の推進

公共建築物の適正管理や業務効率化のため、修繕や光熱水費支払い事務を一元化

未利用財産の売却推進

未利用地12件（4万714平方メートル）、未利用建物2件（7千266平方メートル）を売却

3. 行政サービスの利便性向上

死亡に関する届け出の効率化

遺族の手続きをサポートする「おくやみコーナー」を開設し、手続きを掲載した「おくやみハンドブック」を作成

指定管理者制度の導入

神代火葬場において、指定管理者制度を導入

消防団の再編による地域における消防力の強化

第2分団と第3分団を統合し、「みなと分団」として入

江合同庁舎に開所

東京事務所を廃止

4. 事務事業の構造的見直し

学校開放事業利用料の見直し

小中学校や保健センター、市立室蘭看護専門学校における体育館の一般開放について利用料を見直し

市の行政改革の詳細は、ホームページに掲載しています。

<http://www.city.muro.ran.lg.jp/main/org1600/gyoukaku2.html>



《詳細》行政マネジメント推進課
☎50-6210